

令和6年度 事業報告について

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会

令和6年度 事業報告

1 組織・運営体制の強化

(1) 理事会・評議員会の開催

会議名	実施日	主 な 議 題
理 事 会	6/1	・令和6年度第1次補正予算（案）について ・令和5年度事業報告（案）について ・令和5年度決算報告（案） ・監事監査報告について ・理事の推薦（案）について ・評議員の推薦（案）について ・部会・運営委員会・連絡会の人事（案）について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員選任・解任委員の選任（案）について ・評議員会の開催について ・運営規程の改定（案）について
評議員会	6/20	・令和6年度第1次補正予算（案）について ・令和5年度事業報告（案）について ・令和5年度決算報告（案） ・監事監査報告について ・理事の選任（案）について ・運営規程の改定（案）について
理 事 会	8/29	・令和6年度高齢者福祉月間を中心とした敬老行事の取り組み(案)について ・評議員の推薦（案）について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・部会・運営委員会・連絡会の人事（案）について ・地区社会福祉協議会役員研修会の開催（案）について ・会長職務執行状況について
理 事 会	3/8	・令和6年度第2次補正予算（案）について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度予算（案）について ・経理規程の一部改正（案）について ・職員就業規則の改正（案）について ・役員賠償責任保険契約（案）について ・第2回評議員会の開催（案）について ・会長職務執行状況について
評議員会	3/25	・令和6年度第2次補正予算（案）について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度予算（案）について ・経理規程の一部改正（案）について ・職員就業規則の改正（案）について ・役員賠償責任保険契約（案）について ・会長職務執行状況について

(2) 会員の募集

- ① 賛助会員 個人 58人（103口）
法人団体 14団体（14口）
② 組織構成会員 34団体（40口）

(3) 善意銀行の運営

預託件数（金銭）	5 件	5 3 3, 6 1 6 円
	（物品）	6 件 鈴虫、車いす・手押し車、紙おむつなど
払出件数（金銭）	地域福祉活動推進事業	2 7 団体
	福祉ボランティア活動応援資金	7 団体
	居場所・つどいの場立ち上げ助成	1 団体
	（物品）	1 件 鈴虫

善意銀行払出要綱に基づき 3 5 の地域・団体に払出をおこなった。

(4) 広報活動の推進

- ① 「社協通信みやこじま」を新聞折込で発行（年４回：７月・１０月・１月・３月）
- | | | | | |
|------|----|---------|-----|---------|
| 発行部数 | ７月 | ３６，０００部 | １０月 | ３６，０００部 |
| | １月 | ３６，０００部 | ３月 | ３６，０００部 |

(5) マスコットキャラクターを活用した取組

都島区社会福祉協議会のマスコットキャラクター「みやこりん」を活用し、区社協を効果的にPRした。

6月16日(日)	m a m a コムマルシェ	1件
7月20日(土)	高倉地域夏まつり	1件
11月 9日(土)	みやこじま防災大作戦2024	1件
11月16日(土)	第7回 なかまとつながる地域の輪	1件
12月 8日(日)	m a m a コムマルシェ	1件

(6) 職員研修会の開催

- | | |
|-----|------------------------------------|
| ① | 人権研修 |
| 内 容 | 「子どもの権利について～10代の若者に寄り添いサポートするために～」 |
| 実施日 | 8/23～29 インターネットによる動画視聴 |
| 内 容 | 「福祉現場におけるカスタマーハラスメントへの対応」 |
| 実施日 | 10/25～31 インターネットによる動画視聴 |
| 内 容 | 「認知症の方の意思決定支援」 |

実施日 12/17～24 インターネットによる動画視聴
内 容 「高齢者をケアするケアラー支援」
実施日 (令和7年) 3/5～6 インターネットによる動画視聴

② 全体研修

内 容 「福祉の基礎理解及び第3期大阪市地域福祉活動推進計画に基づく事業推進」
実施日 12/10～12/23 インターネットによる動画視聴
内 容 「コンプライアンス研修～労務管理とハラスメント」
実施日 6/17～6/28 インターネットによる動画視聴

2 在宅福祉サービスの実施及びその充実

車いす貸し出し事業

区社協利用申請件数 191件

3 地域福祉活動の支援

(1) 活動費助成（共同募金配分金事業）

総助成金額 2,031,440円

(2) 地域高齢者食事サービス事業の育成・充実

- 高齢者食事サービス・ふれあい喫茶連絡会の開催 1/24
 - ・ これまでの活動の振り返り
 - ・ 情報交換

(3) 「広げよう地域の輪」実施

毎年、障がい理解へのすそ野を広げていくことを目的に事業を実施。

今年度は、区社協の災害ボランティアセンター設置・運営訓練を障がい者基幹相談センター「あるる」と協働して実施 2/8

(4) 「c a f é ま〜ぶる」の実施

「誰かとお話したい」、「何か活動に参加したい」方が、専門職のサポートを受けながら参加できる居場所として実施。

9/28 都島区民まつり

11/9 みやこじま防災大作戦2024への参画

(5) みやこじまピアカン（ピア・カウンセリング）の実施

障がいをもつ人同士でお互いの気持ちを同じ時間、聴き合います。

2回開催（6/22、12/21）

(6) 福祉まいど相談

開催なし

(7) 各種福祉関係事業への助成

・地域福祉活動推進事業【善意銀行払出金】	713,400円
・福祉ボランティア活動応援資金【善意銀行払出金】	168,000円
・居場所・つどいの場立ち上げ助成【善意銀行払出金】	28,000円
・各種事業助成金【共同募金配分金事業】	498,693円

(8) 物品の貸出事業

福祉教育用具

- ①高齢者疑似体験セット 1件（淀川クリニック）
- ②車いす 3件（都島中、友渕小、高倉中）
- ③車いす体験用スロープ 2件（あるる）
- ④ボッチャ11件（都島中ボランティア部、桜宮小ミニバスケ部、都島区スポーツ推進委員協議会2件、友渕地活協、桜宮脳活いきいきクラブ、あるる3件、高倉中、中野小）
- ⑤アイマスク1件（高倉中）

その他用具

- ①プロジェクター（13件）／DVDプレイヤー（13件）

(9) 印刷関連機材貸出事業（件）

貸出機材	高速カラープリンター	拡大機	パウチ機	裁断機	折り機
利用件数	296	5	0	1	1

(10) 子育て支援ネットワーク会議の取り組みへの参画

子育て支援ネットワーク会議への参画 4回（5/14・8/29・11/19・2/18）

内 容 ア 子育てサロン等、子育て支援施設との情報交換・情報共有

イ 子育て支援に関する研修会や子育てネットワークイベントの話し合い

(11) 都島区子ども食堂情報交換会の開催

都島区内で開催している子ども食堂の関係者による情報交換会を開催した。

情報交換会の開催 1回（1/25）

(1 2) 都島区社会福祉施設連絡会への支援

①都島区社会福祉施設連絡会役員会の開催

- 5/28 総会の開催について等
- 6/21 総会の開催について、福祉ふれあいフェスタ開催について等
- 11/19 福祉ふれあいフェスタ振り返り、親睦交流会の開催について等
- 12/ 4 親睦交流会の開催について等

②総会の開催

- 7/10 令和6年度活動報告について等

③福祉ふれあいフェスタの実行委員会の開催

- 7/18 出店内容の確認、従事者、設営、広報について等
- 12/16 福祉ふれあいフェスタ振り返り

④福祉ふれあいフェスタの開催

- 9/28 都島区民まつりと同時開催 (場所：毛馬桜之宮公園)
- 32施設88人参加

⑤親睦交流会の開催

- 2/14 22施設70人参加 (場所：ひがみや児童センター)

⑥施設職員研修会の開催

- 7/10 虐待防止に向けて私たちにできること
講師：(一財)虐待防止機構オレンジCAPO 理事長 島田 妙子 氏
- 12/17 「なぜこぜの社会」を目指して
講師：(一社) Get in touch 理事長 東 ちづる 氏
- 2/7 一水会・区社会福祉施設連絡会合同研修会
「社会福祉施設の公益的な取組みの推進」
講師：ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国広氏

4 ボランティア・市民活動センターの運営

総合相談件数 105件

(1) ボランティア・市民活動センター実施内容

○ボランティア・アドバイザー連絡会

- 5/29 ・令和6年度の取り組みについて
- 7/17 ・ボランティアまつりについて (内容の検討)
- ・区民まつりについて (内容の検討)
- 9/ 6 ・区民まつりについて (スケジュールの確認)
- 11/ 5 ・区民まつりについて (振り返り)
- 1/28 ・ボランティアまつりについて (スケジュールの確認)
- 3/14 ・ボランティアまつりについて (振り返り)

・来年度に向けて

○ボランティア学習会

- 12/3 ・防災講演会
2/22 ・ボランティアまつり（交流会）



防災講演会



ボランティアまつり



○おはなし入門講座（都島おはなしサークル「シフカ・ブールカ」との共催）

3/10、5/13、5/20、6/3、6/10



○福祉教育

5/17、24 ・都島中学校2年生

車いす体験、車いすを利用している方のお話、ボッチャ体験など

9/27

・都島第二工業高等学校 視覚障がい者の方のお話、アイマスク体験

12/13

・友渕中学校2年生 車いすを利用している方のお話、車いす体験

1/22

・中野小学校3年生 車いすを利用している方のお話、ボッチャ体験

2/12

・高倉中学校2年生 車いすおよびアイマスク体験、注意事項等の講話



○職場体験実習

10/31、11/1 ・都島中学校2年生

11/7、11/8 ・高倉中学校2年生

目的：生徒の皆さんに、地域活動を一緒に体験いただきながら学んでいただく。



5 地域支援システムに基づく取組

自立支援協議会各専門部会への参加

開催日	内 容
5/14	(地域当事者部会) 個別避難計画について、なかまとつながる地域の輪等
5/17	(全体部会) 個別避難計画について、各部会からの報告について等
7/9	(地域当事者部会) 個別避難計画について、なかまとつながる地域の輪等
8/16	(全体会議) 個別避難計画について、各部会からの報告について等
10/8	(地域当事者部会) 個別避難計画について、なかまとつながる地域の輪等
11/15	(全体会議) 個別避難計画について、各部会からの報告について等
1/14	(地域当事者部会) 個別避難計画について、2025 年度事業計画について等
2/21	(全体会議) 個別避難計画について、各部会からの報告について等

6 「みやこじま あんしんカプセル」の取り組み

ひとり暮らしの高齢者などが、自宅で万が一の事態に備えるための取り組み。

医療情報を「あんしん情報カード」をカプセルに入れ、冷蔵庫内に保管し必要な情報を伝える。カプセルと冷蔵庫扉には、シールを貼り、カプセルの存在を明示し、緊急時開封し、活用する。各地域福祉コーディネーターや区社協ホームページにて周知。

7 都島区キャラバン・メイト連絡会事務局の運営

●キャラバン・メイト連絡会

●キャラバン・メイト連絡会 役員会

開催日	参加人数	開催日	参加人数
4月25日(木)	6名	5月15日(水)	5名
6月27日(木)	7名	7月24日(水)	5名
8月22日(木)	9名	9月18日(水)	4名
10月24日(木)	7名	11月19日(火)	4名
12月19日(木)	9名	1月21日(火)	4名
2月27日(木)	8名		

●認知症サポーター養成講座、その他の講座

開催日	参加人数	実施内容
7月11日(木)	17名	栄養ワンダー(区包括とのコラボ)
7月12日(金)	10名	栄養ワンダー(区包括とのコラボ)
7月17日(水)	9名	第1回 一般区民対象講座【区在宅】
10月3日(木)	86名	医会連携事業 講演会に従事
11月14日(木)	7名	第2回 一般区民対象講座【高倉福祉会館】
12月13日(金)	21名	映画会「認知症～愛の奇跡」【友渕福祉館】
1月31日(金)	8名	東野田ちどり保育園職員対象講座【出張開催】
3月22日(土)	9名	第3回 一般区民対象講座【中野福祉会館】

8 防災に関する取り組み

(1) みやこじま防災大作戦2024

開催日 11/9

内 容 無印良品 防災ワークショップ、VR 災害体験、
非常食食堂、消防署の体験コーナー等

参加者 約250名

協 力 無印良品 京阪モール、JR 西日本(放出駅)、都島区 親の会 カラフル
傾聴ボランティア「TOMO(共・友)」、都島おはなしサークルシフカ・ブールカ
ファミリーマート都島本通3丁目店、都島消防署、都島区役所等



ミニ消防車と写真撮影

(2) 都島区災害救助部長・防災リーダー隊長合同会議への参画

合同会議 5/29、9/25、11/27、2/27 防災大作戦への協力依頼および報告

(3) 地域防災訓練への参加 2件

区役所との通信訓練等 9/3、2/8

(4) 区社協防災訓練 災害対策本部設置にかかる研修

災害ボランティアセンター設置にかかる事前12/25

災害ボランティアセンター設置・運営訓練 2/8

(5) 大阪都島ライオンズクラブとの協定締結

災害時におけるボランティア支援に関する協定書を締結

9 受託事業の運営

(1) 地域包括支援センターの運営〔市公募事業〕 担当圏域：桜宮・中野・西都島・東都島

① 総合相談 担当圏域の高齢者数 10,983人

相談件数（抜粋）	令和6年度(件)	令和5年度(件)	
相談実人員	1,085	987	↑
うち認知症（疑い含む）	351	150	↑
延べ相談件数	12,552	10,090	↑
うち認知症（疑い含む）	5,384	2,742	↑
訪問	2,136	1,554	↑
電話	9,081	7,484	↑
来所	1,217	930	↑

内容区分（抜粋）	令和6年度(件)	令和5年度(件)	
経済・生活問題	6,428	5,118	↑
介護サービスに関すること	3,445	2,445	↑
介護予防サービス・総合事業	825	1,025	↓
保健・医療に関すること	789	557	↑
虐待に関すること	268	359	↓
成年後見制度の活用	334	147	↑
福祉サービスの活用	202	93	↑

相談相手（抜粋）	令和6年度(件)	令和5年度(件)	
本人	3,317	2,743	↑
介護支援専門員（ケアマネジャー）	2,531	2,130	↑
家族・親族	1,638	1,420	↑
行政・公的機関関係者	1,363	1,188	↑
医療関係者（医介連携C除く）	915	814	↑
介護サービス提供事業者	855	532	↑
住人・知人・民生・地域・町会	414	351	↑
その他	825	377	↑

圏域内の高齢者人口は前年度から24人減少しているがほぼ横ばいである。相談実人員、延べ相談件数とも増加、特に認知症の件数が大幅に増加している。本人や家族が認知症や精神疾患であるなど、複合的な課題を抱えたケースが増えており、訪問対応も4割増しになっている。

内容区分では、金銭管理・近隣トラブル・不衛生状態などの「経済・生活問題」がさらに増え

ている。身寄りのない独居高齢者が増加しており、成年後見制度や、見守り・安否確認としての緊急通報システムや食事サービスなど福祉サービスへの関心が高かった。相談相手としては、本人、家族・親族、介護・医療・障がい関係者、公的機関、住人・知人・地域・町会、弁護士・司法書士、銀行・郵便局、住宅管理会社、家主、コンビニ、ライフライン（電気、ガス、水道、電話）、新聞販売店、終身サポート事業者等、多岐にわたる。

② 取り組み

【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント】

要介護状態にならないよう事業を実施。

「百歳体操ロージム S100」：介護予防を目的に立ち上げ支援を行った。毎週水曜日に約20名の参加者が自主的に運営し、年51回、1,270人の出席があった。企業の協力で歩行測定会を2回実施し、意欲の向上や新しい参加者につながった。

「栄養ワンダー～いきいき健口教室」：管理栄養士による、栄養バランスのとれた食事の工夫についての講座を実施。（2回実施、計45人）

【権利擁護】

高齢者虐待対応や、高齢者虐待防止のための周知として、高齢者虐待が起きやすい認知症理解の啓発や、介護家族の会の開催支援を実施した。また、成年後見制度やあんしんさぽーと事業の利用支援をおこなった。

【包括的・継続的ケアマネジメント支援】

高齢者が自宅で生活を続けられるよう、介護支援専門員や高齢者の支援者の後方支援。

「自立支援型マネジメント検討会議 大会議」：介護支援専門員が作成した要支援者のケアプランを、医師・リハビリ職・管理栄養士・薬剤師等が、自立に向けて検討する会議を6回実施した。

「自立支援型マネジメント検討会議 小会議」大阪介護支援専門員協会に申請し、主任介護支援専門員法定外研修としても位置付け、2回実施した。

「地域ケア会議」：支援困難ケースについて、行政・介護・医療・地域支援者・法律などの多職種で、支援の方向性を検討する会議を延30回実施した。これらの個別ケースの課題を積み重ねて地域課題を抽出し、事業につなげている。

【地域課題から取り組んできた事業】

「男のための座学～第二の人生を豊かにする」

男性の男性による男性のためのつどいの場として、孤立予防や生きがいづくりを目的として運営。奇数月に運営委員会で活動内容を企画し、偶数月に講座・遠足・実習などを実施した。コーヒーの淹れ方講座（講座）、東洋陶磁美術館（遠足）、自衛隊災害サバイバル術（実習）、オーケストラ音楽鑑賞会（講座）、お正月飾り作り・クリスマス会（実習）、ちょこっと運動教室（実習）、白鶴酒造資料館見学（遠足／特別企画）を開催し、延べ177人の参加があった。

「もしもの時にそなえる働きかけ」

・もしもの時を考える～お後がよろしいようでパート2（3回講座）延べ63人の参加があった。

『様々な最後の迎え方』『エンディングノートを書いてみよう』『終活なんでも座談会』

・もしもの時に備えるコーナーの充実

「障がい者の支援者と高齢者の支援者との連携」介護事業者合同研修会・多職種交流会

11/20、複合的課題のある世帯の支援に向けて、それぞれの分野の支援者が、学び合い、顔の見える関係づくりを目的に『カスタマーハラスメント』についての講演会とグループワークを実施し、86人の参加があった。



「いきいき百歳体操ロージム S100」



「男のための座学」自衛隊（実習）



「もしもの時を考える」終活なんでも座談会

（２）生活困窮者自立相談支援事業〔市公募事業〕

窓口開設場所：都島区役所３階３２番窓口

開設時間：平日午前９時～午後５時３０分

ア 新規相談受付件数 450件（内、本人特定相談件数272件）

イ 支援決定・確認件数 72件（再プラン含む）

ウ 評価実施件数 65件（再プラン含む）

エ 支援継続中ケース数 17件（令和6年3月末現在）

オ 訪問同行支援延べ件数 145件

① 自立支援調整会議

支援調整会議開催件数 135件

② 就労支援

ア 総合就職サポート事業 16件（再プラン含む）

イ 生活保護受給者等自立促進事業利用件数 4件（再プラン含む）

③ 家計改善支援事業 8件

④ 住宅確保と転居における支援 3件

⑤ 法律相談事業

ア 定例法律相談（都島区での開催） 4/25、7/26、10/24、1/23

イ 法律相談利用者数 12件

ウ 内、担当弁護士受任者数 8件

⑥ 緊急食糧等支援事業

区内在住及び在住予定の生活困窮者等が、緊急かつ一時的に生計の維持が困難になった場合、食料等の生活に必要な現物、生計維持や就職活動に必要な経費を提供するなどの一時的に生活支援を行い、再び自立できる機会となることを目指し、区社協独

自事業として実施。

実施件数 18件

⑦ 関係機関との連携

環境事業局や大阪信用金庫、日本もったいない食品センターなどから、食料の寄付受領の機会が増加した。

⑧ ブロック会議開催

北ブロック連絡会 6/25、9/25、12/20、3/18 計4回開催

⑨ フードパントリーの取り組み

区見守り相談室等と連携し、各窓口の相談者の中で気になる方を中心に声かけした。本年度は、特にひとり親世帯を対象に小中学校等に協力を得て広く周知した。フードドライブなどで集められた食料品や日用品、地域団体からの食料等の寄付を活用して配付をおこなった。また出張相談窓口としての役割も担っており、「誰に助けを求めてよいかわからない」といった方の相談のきっかけとなるよう実施した。

回数	日時	参加者
第21回	6月28日(金) 午後5時～7時	11組
第22回	10月17日(金) 午後5時～7時	14組
第23回	12月6日(金) 午後5時～7時	23組
第24回	12月26日(金) 午後5時～7時	20組
第25回	3月1日(土) 午後2時～4時(出張)	20組
合計		88組

第24回・第25回は大阪都島ライオンズクラブからの善意銀行指定寄付を活用し、ひとり親家庭の支援として、クリスマスケーキ・おせち・ちらし寿司を配布。季節の行事を楽しんでもらうことができた。

第25回は桜宮福社会館へ出張として、連合振興町会や民生委員児童委員協議会の協力のもと開催。

(3) 地域福祉コーディネート事業 [区受託事業]

地域ごとの福祉相談窓口として住民からの相談に応じるとともに、アウトリーチにより、困りごとのある世帯の発見に努めた。また、地域ネットワークを活かし、行政や相談支援機関と連携しながら個別支援や地域づくりに努めた。

体制：9地域の福社会館等に10人(内1地域は複数配置)のコーディネーターを配置

開設日・時間：月～金曜日、1日5時間の業務

・コーディネーター連絡会

奇数月 関係機関との情報交換

偶数月 コーディネーターと担当職員で小規模な連絡会や研修会

個別支援や地域づくりの情報交換など、資質の向上を目的に開催。

① 地域福祉コーディネーター連絡会・研修会

	日程	内容
連絡会	4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、 9/13、10/11、11/8、12/13、 1/10、2/14、3/14	個別支援や地域の活動などの情報共有 スタンプラリー、フードパントリーの検討など
研修会	研修「社会福祉協議会について」 5/12	区社協職員が都島区社会福祉協議会の役割や各 事業・活動内容について周知
	研修「要援護者名簿の活用・あんしんさぽー との金銭管理」 7/12	見守り相談室の事業内容や要援護者名簿の取り 扱いおよびあんしんさぽーとの事業について実 施。
	研修「見守り支援」 9/13	7月研修の後半として見守り活動について実 施。
	職員全体研修「障がい者への合理的配慮につ いて」 12/10・11、12/19・20	障がいの理解について実施。 指定日時で各職員が動画視聴。
	セルフケア研修会『イスヨガ』 3/14	個別ケースの対応が深刻化する中で、緊張を解 きリラックスしながら自身の身体について見つ めなおす機会を設ける。

【コーディネーター新聞‘おうち日和’の継続発行】

コロナ禍で地域でのつながりが途切れないようコーディネーター新聞‘おうち日和’を年4回発行。各地域で活躍する人を紹介する「地域の宝箱」だけでなく、生活の中で活用できる情報も掲載。見守りや安否確認を兼ねてポスティングや訪問、食事サービス等で声をかけながら配布を行った。

【スタンプラリーの拡充】

「一日誰ともしゃべらない」「外出する機会が減り、足腰が弱ってきた」という住民の声から‘おでかけスタンプラリー’が誕生。

神社やJRの駅にも協力を得ながら、区内14箇所のスタンプ地点で実施。

のべ参加者数 16,327人

また、各地域の会館などでは、地域社会福祉協議会や連合振興町会などの協力のもと、地域独自の取り組み（脳トレや塗り絵、折り紙、川柳、クイズ、スマホ講座、ラジオ体操など）に発展している。

○孤立発見プロジェクト（令和3年1月より発足）

地域を基盤とした多面的・多角的な孤立世帯の掘り起こしをおこなった。

【つながりいろいろ交流会】

孤立している世帯の増加のともない、課題のあるケースが埋もれてくる中で、早期に発見し支援がで



きるように、地域住民、支援者のつながりができるよう、多様な団体の取り組み紹介や異業種交流会を実施する。

2/17 午後14時～16時30分

地域住民、URやボランティア団体、弁護士、拘置所など48団体69名が参加

【コンビニとの連携】

ファミリーマート3店舗とICTを活用した相談の仕組みをモデル的に実施。

【地域への出張講座】

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯などが活用できる社会資源や相談窓口、介護保険制度、地域で長く暮らすために参加できる地域活動の紹介などの講座を実施した。また、みやこじまあんしんカプセルの周知を行い、自宅で万が一の事態に備えることの重要性について説明をおこなった。

開催日	開催場所	参加者
5/8	西都島老人クラブ連合会	28名
6/16	友渕セントプレイス大阪シニア会	30名
10/20	三陽ハイツ	35名

【都島区折り鶴プロジェクト】

ゆめ伴プロジェクト in 門真実行委員会による関西万博での出展をめざした「いのち輝く折り鶴100万羽プロジェクト」に共感した地域住民が同企画に参加したいとのことで区社協に相談があり、ゆめ伴プロジェクトと連携しながら活動支援を行った。地域福祉コーディネーターを通じて地域住民が鶴を折り「ゆめ伴プロジェクト」による関西万博での展示に参加することができた。

(4) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 [大阪市委託事業]

① 要援護者名簿をもとにした見守り活動の推進

ア 郵送による同意確認

新規対象者 799人 回答数 539件

イ 訪問による同意確認

総訪問数 379人 回答数 106件

ウ 見守り活動連絡会及び名簿交換の開催

地域名	日時	対象	場所
桜宮地域	6/24	連合振興町会	桜宮福祉会館
	6/25	民生委員	桜宮福祉会館
中野地域	8/20	中野見守り活動連絡会	都島区民センター
東都島地域	2/25	連合振興町会	東都島福祉会館
	3/21	民生委員	
西都島地域	2/25	連合振興町会	西都島福祉会館

	3 / 2 4	民生委員	
内代地域	1 / 2 2	内代見守り連絡会	内代福祉会館
高倉地域	5 / 2 2	民生委員	高倉福祉会館
	5 / 2 0	連合振興町会	高倉福祉会館
友渕地域	1 2 / 2 3	地域活動協議会	友渕福祉会館
		民生委員	友渕コーポ
淀川地域	5 / 1 8	連合振興町会	淀川福祉会館
	6 / 1	民生委員	

② 孤立世帯等への専門的対応

ア 相談件数	3, 6 3 2件
イ 相談実人員	7 3 2人
ウ アウトリーチ(支援拒否)	1 1 0件

③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見に向けたメール配信（通称：見守りメール）

ア 配信先協力団体	1 2 6団体
イ 登録者現在	7 0人
ウ 配信件数	2件

（５）生活支援体制整備事業

① 協議体の設置及び会議の開催

ア 第１層協議体会議 ３回

開催日 8 / 2 3、9 / 1 1、2 / 2 0

内 容 計画や実施の報告、検討課題の共有など

イ 第２層協議体会議 ２回

開催日 （区包括圏域） 1 1 / 1 5

（北部包括圏域） 1 1 / 6

内 容 地域の活動状況の共有、カードゲームを通して助け合いの体験、意見交換など

② 地域資源・サービスの開発等

ア 新規立ち上げ、拡充件数：介護予防（趣味、学習、運動など）	1 0件
：生活支援	0件

イ 重点的な取り組み

・ e スポーツサークル活動の立ち上げ

認知症予防につながる新たな地域活動として、昨年度に引き続き取り組んでいる。コンピューターゲームを使用して参加者同士で対戦、交流を図っている。高齢男性を対象とした体験会実施（1 0月）などから、区社協や老人福祉センターにて少人数制のサークル活動が立ち上がった。

- ・中野スマホ教室の立ち上げ（区包括圏域）

「スマートフォン操作で困っている高齢者が多い」との課題から、スマートフォンの相談や他者と交流できる場として、福祉会館にて新たに立ち上がった。養成講座（3月実施）を修了したスマホサポーター（ボランティア）の活躍場にもなっている。

- ・活動の場の発掘（北部包括圏域）

自宅からの距離が遠く、地域の会館に行けない高齢者が通える場の発掘として、高齢者施設、商業施設、寺院などに訪問し（23カ所）、事業周知や地域開放に向けた情報収集と呼びかけを行った。また新たに3カ所の商業施設にて広報紙の配架協力いただくこととなった。



第2層協議体（体制整備①）



e スポーツサークル（男性）（体制整備②）



中野スマホ教室（体制整備③）

（6）あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の実施

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	総数
相談件数(延べ)	1, 5 8 3	4 1 8	6 5 0	8	2, 6 5 9

民生委員会・ケアマネージャー連絡会等にて事業説明（実施回数）15回

（7）生活福祉資金貸付事務事業

（件）

内 容	相談件数
総合支援資金	1 5
教育支援資金	2 0 9
生活福祉資金	4 4 1
緊急小口資金	8 6
臨時特例つなぎ資金	0
不動産担保型資金	1
離職者支援資金	3
コロナ特例	3 3 4
住宅確保給付金	1
合 計	1, 0 9 0

10 介護保険事業の実施状況

居宅介護支援事業

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護	31	31	31	27	27	32	29	31	29	27	24	26	28.75
要支援	14	17	16	15	15	14	12	16	14	12	12	14	14.25

11 介護予防事業の実施状況

大阪市介護予防教室（なにわ元気塾）

生活機能の向上や認知症予防などの観点から、体操や口腔・栄養、創作活動やレクリエーション活動などを各地域の会館等において実施した。4月には「なにわ元気塾」に参加されていない方を対象にして体験教室（カラオケ体操）を開催しました。新たに17名の方が登録されて、3月末時点で240名の登録がありました。

実施回数：120回 参加者：1,772人（延べ）※全日程を開催しました。



「なにわ元気塾」体験教室 (R6.4.26)

12 老人福祉センター事業報告 [大阪市委託事業]

地域高齢者の健康維持・介護予防につながる事業を中心に運営した。特に3つの重点施策として、【①介護予防・健康づくりによるフレイル予防】【②高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止】【③ボランティア人材の育成・高齢者の生きがいづくり】の 카테고리を中心にしたプログラムを組み立てて遂行した。又、幅広い利用者の獲得に向けて、ホームページの毎月更新と、センターだよりの発行だけでなく、5大新聞への案内チラシの折り込みも実施し、増員を図った。

(1) 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用人数	2,158	2,040	2,190	2,023	1,699	1,949	2,179	1,892	1,892	1,688	1,788	1,872	23,370
登録者数	261	31	22	21	11	13	8	16	5	9	13	13	423

(2) 事業内容

① 講座・講習会・イベント

令和6年度老人福祉センター主催事業一覧(実績)

事業名	実績	
	回数	人数(延)
◆高齢者の居場所づくり、孤立防止の取り組み		
スタンプラリー（社協共催）	毎月	1,500
◆健康づくりと介護予防の促進講座		
健康セミナー「ヤクルト健康講座」	年 3 回	78
健康セミナー「ナナカラ薬局」	年 2 回	32
◆健康・体力作り事業		
ラジオ体操	週 6 回	4,695
認知症予防トレーニング	年 12 回	336
すこやかマッサージ&ダンス	年 11 回	275
ストレッチ&ダンス	年 11 回	275
ノルディックウォーキング&ヨガ	年 5 回	100
体験講座（ダンスでフレイル予防）	年 1 回	15
◆生きがい探求講座・教養講座		
お花遊びサロン	年 1 回	12
夕涼みラジオ体操	年 18 回	47
りそな銀行の出前講座	年 1 回	29
◆生きがいづくり事業		
お誕生写真撮影&似顔絵	年 6 回	60
盆踊り大会	年 1 回	27
施設見学（カップヌードルミュージアム）	年 1 回	12
任天堂 e スポーツ体験会	年 1 回	12
◆高齢者の自主的な地域福祉活動支援（人材育成）		
ボランティア講座	—	—
◆地域間交流・世代間交流事業		
老人憩の家 出張講座（ダンスでフレイル予防）	年 1 回	34
世代間交流事業（クロリティ）	年 1 回	8
◆啓発活動・啓発講座		
スマートフォン講座	年 3 回	60
音楽健康体操	年 1 回	16
ふれあいカフェ	年 10 回	160
◆広報活動		
センターだより発行	年 12 回	12,000 部
◆その他		

② その他

●都島区老人クラブ連合会の連携

毎月 1 回定例会の開催、スポーツ大会等の実施や会員募集などを支援した。

●相談支援事業

日常生活の困りごとや介護・認知症など各種相談援助事業を実施した。【年間 15 件】